



はたらく『ノウハウ』

～面接時の服装は、応募先企業に合わせて考えよう！～

応募先企業に面接に行く時の服装は、一般的にはスーツで臨むのが良いと思います。人は第一印象が重要なので、より好印象を与えられるよう清潔感などを意識して服装を考えましょう。

もちろん、スーツだからOK、というわけでもありません。面接時の服装は、**応募先企業に合わせて考える**必要があります。

例えば、デザイン会社にデザイナーとして面接に行く場合は、必ずしもスーツである必要はありません。

デザイナーは、第一印象で『**どれだけセンスがあるか**』をアピールする必要があります。最新のトレンドを取り入れたり、個性を出すことが好印象につながります。アパレル関係の販売職にも同じことが言えます。『おしゃれさ』と『着こなし』がポイントになるのではないのでしょうか。

このように、応募先企業によって適切な服装というのは変わってきます。どのような服装で、どのように印象づけるのかを考えるためにも、応募先企業をリサーチすることが重要なのです。

西宮市しごと相談室では、どのような服装で面接に行くべきか悩んだ時ご相談に乗ります。ぜひご活用下さい。

就職決定者のハナシ⑤



N.さん(仮名) 20代女性

医療事務職(病院)に
正社員として**就職決定!**

Nさんは以前、アルバイトとして販売職に就いていました。ある時、かかりつけの病院の先生との会話の中で、「医療事務が向いているんじゃないか」と言われ興味を持ち、医療事務の仕事を目指すようになりました。

約半年、スクールで医療事務について学び、資格を取得。その後就職活動を行うも未経験ということもあり、医療事務職としての就職はままならず、薬局での事務や医療機関関連の物流企業でアルバイトとして働いていました。

前職の物流会社を退職後、「かつて志した医療事務の仕事にチャレンジしてみたい」と思い就職活動に臨みました。

🍀 未経験からの応募

資格を持っているものの、未経験ということもあり、なかなか採用には至らなかったようです。15社ほど不採用の通知を受け、自信を失いかけていた時、西宮市しごと相談室に入室していただきました。

誰でも初めてする仕事は誰でも未経験からのスタート。諦めるのはまだ早い、と感じた私たちは、Nさんが医療事務として働きたい“想い”を伝えることで道は拓けるはずだと考えました。

求人情報サイトや求人情報誌のみならず、就業先の一つである「病院」のホームページなどからも求人情報がないかチェックするなど求人情報収集の幅を広げました。そして、書類選考で落ちることが多かったNさんの応募書類を見直し、いかに熱意を伝えるかを一緒に考えました。また、事前に外からではありませんが、応募先の病院の様子も見に行き、職場の空気に触れることで、一層その病院で働きたいという想いが強くなりました。

模擬面接も行い、少しずつ自信をつけていったNさん。一日に何度も応募書類を書き直し、「そこで働きたいという熱い想い」を丁寧に応募書類に綴っていきました。そして面接でも自分を上手くアピールし、ついに医療事務職として就職することに成功しました。

現在勤務している病院は職場環境も良く、就職できて本当に良かったと感じているようです。未経験からのスタートなので大変なこともたくさんあると思います。しかし、Nさんの仕事への熱意が彼女を成長させ、いつの日か、自信で満ち溢れた医療事務職員となり、利用される方に安らぎを与えることでしょう。

就職活動期間：約5か月

応募した会社：20社(うち、書類通過10社)

就職活動中の皆様へのメッセージ

Check!

「辛いのは就職活動期間だけです。その経験はのちに宝となります。仕事のありがたみがわかる時期ですし、仕事が決まるのは熱意を伝えることができるかどうかとタイミングだと思います。」

西宮市若年者等就労支援事業

西宮市しごと相談室

月曜日～土曜日 10時～20時
(休日・祝日・年末年始除く)

〒662-0912

兵庫県西宮市松原町2-37 西宮市立勤労会館1階

電話 /0798-38-8321 FAX/0798-38-8320

MAIL/shigoto@comisapo.com

WEBサイト <http://nishi-shigoto.com/>

携帯サイト <http://nishi-shigoto.com/m/>



携帯サイト QR コード